



## MIFA NEWS

No. 57

3/31. 2013

Moriya International Friendship Association

守谷市国際交流協会広報委員会発行

MIFA 連絡先 (守谷市国際交流協会担当)

所在地: 守谷市大柏950-1 電話: 0297-45-1111

URL: <http://www.fureai.or.jp/~mifa>

E-mail: [mifa@fureai.or.jp](mailto:mifa@fureai.or.jp)



国旗とともに (2012.10.14 MIFA フェスタで)

### 2012年度(平成24年度)の主な事業

- 4. 7 第1回英語でおしゃべり トピック「Sport」〔ログハウス〕
- 4. 7 守谷市・マインブルク市市民交流会〔ログハウス〕
- 4. 8 守谷市市制施行10周年記念式典参加〔中央公民館〕
- 5. 5 MIFA 理事会〔ログハウス〕
- 5.12 第2回英語でおしゃべり & ランチ交流会 トピック「ドイツ」〔ログハウス〕
- 5.16 ~ 7.18 第52回外国人のためのボランティア日本語講座〔ログハウス〕
- 5.19 ボランティア講師研修会①〔ログハウス〕
- 5.26 ボランティア講師研修会②〔ログハウス〕
- 6. 2 第3回英語でおしゃべり トピック「フリートーク」〔ログハウス〕
- 6. 3 Welcome to MIFA〔ログハウス〕
- 6. 3 MIFA 総会〔ログハウス〕
- 6. 3 総会后講演会「サハラ砂漠に住んで」〔ログハウス〕
- 6.16 国際理解WG 定例会 WS 体験「続先住民とESD」〔ログハウス〕
- 7. 2 平成24年度第1回国際交流・協力ネットワーク会議及び多文化共生推進会議参加〔茨城県民文化センター一館〕
- 7. 7 第4回英語でおしゃべり トピック「Summer Vacation」〔ログハウス〕

## MIFA 総会



6月3日、守谷市国際交流研修センター（ログハウス）において、2012年度第24回守谷市国際交流協会（MIFA）総会が行われました。

会長あいさつの後、橋本孝夫副市長の来賓あいさつがあり、それから議事に入りました。2011年度活動報告及び2011年

度決算・監査意見が承認されました。その後2012年度事業計画及び2012年度予算が可決されました。また、監事の補充、事務局員の変更が同意されました。

総会終了後、一般社団法人コモン・ニジェル代表理事・福田英子さんによって「サハラ砂漠に住んで」と題した講演が行われました。

また、総会前の時間を利用し、MIFAの活動を紹介する「Welcome to MIFA」を行いました。会員になったからにはイベントに参加するだけでなく、企画・運営をしたほうがより楽しく活動できると思います。会員の皆さんの積極的な参加をお待ちしています。

## 講演会 「サハラ砂漠に住んで」



講師の福田英子さんは、1978年、ウラン探鉱のためニジェル共和国に赴任した夫に伴い、サハラ砂漠の真ん中のキャンプに日本人女性として初めて2年間滞在しました。その後7年間パリに駐在し、その間に隣家がテロによる爆破で大破するという体験もしました。1987年からは子ども2人とともに再びニジェルへ。首都のニアメに5年間駐在、その間にニ

ジェールの政変を体験するなど国際社会の波を実体験した貴重な経験をお持ちです。1992年に帰国。日本人がほとんど知らないニジェルという国を知ってもらうための国内活動と最貧国と言われるニジェルの子どもたちを応援する活動を行っています。

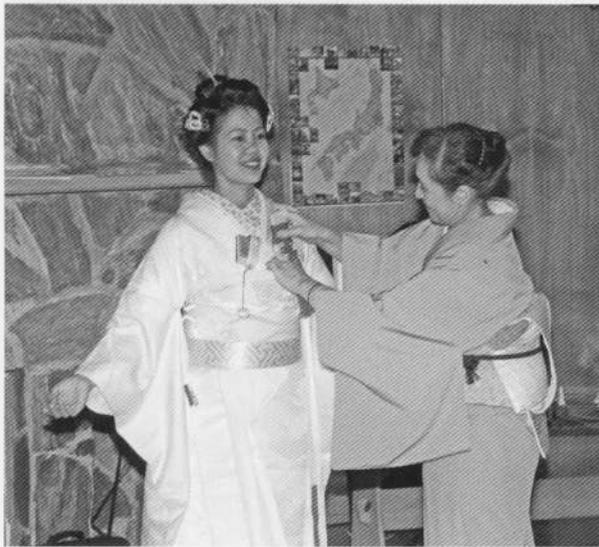
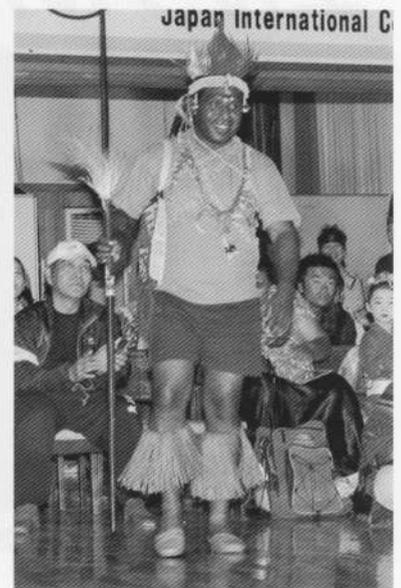
### 【講演要旨】

ニジェル共和国は西アフリカにある内陸国です。面積は日本の約3.4倍あり、人口は1,370万人（2006年当時）。公用語はフランス語です。海に囲まれた島国の日本で、遠いアフリカの海のない砂漠の国のことを考えるのは難しいかもしれません。しかし、そういった国のことを考えることが、実は自分たちを知ることにつながるのではないかと思います。私たちが快適に暮らすための電気。今、原発は止まっていますが、稼働しているとき、24分の1はニジェル産のウランを燃料に使っていました（2009年当時）。24時間のうち1時間はニジェルから運ばれてきたウランが日本の快適さを支えてくれていました。そんなことを少し覚えていてください。

- 7.18 第52回外国人のためのボランティア日本語講座修了式〔ログハウス〕
- 7.21 国際理解WG定例会「果樹に関する農業支援」〔ログハウス〕
- 7.27～8.7 平成24年度守谷市青少年海外派遣事業〔グリーン市〕
- 8.18～8.19 北守谷地区夏祭参加〔立沢公園〕
- 8.31 アークスプロジェクト2012いばらきオープニングレセプション参加〔アワズもりや〕
- 9.1 第5回英語でおしゃべりトピック「The Olympice」〔ログハウス〕
- 9.15 国際理解WG主催講演会「ブータンはなぜ、輝いているのか」〔ログハウス〕
- 9.26～11.28 第53回外国人のためのボランティア日本語講座〔ログハウス〕

- 9.29～9.30 第29回守谷市商工まつり～きらめき守谷夢彩都フェスタ～参加〔守谷駅周辺〕
- 9.30 ボランティア講師研修会①〔ログハウス〕
- 10.6 第6回英語でおしゃべり＆ランチ交流会トピック「India」〔ログハウス〕
- 10.14 第15回MIFAフェスタ2012「われら地球人」〔ログハウス〕
- 10.15 開発教育「放課後子ども教室」〔郷州小学校〕
- 10.17 筑波大学学長主催外国人留学生懇談会及び地域交流団体との意見交換会参加〔筑波大学〕
- 10.28 ボランティア講師研修会②〔ログハウス〕
- 11.3 第7回英語でおしゃべりトピック「Japanese Culture」〔ログハウス〕
- 11.26 開発教育「放課後子ども教室」〔高野小学校〕
- 11.28 第53回外国人のためのボランティア日本語

# ★ MIFA フェスタ 2012 ★



10月14日、第15回 MIFA フェスタが、ログハウスを会場に行われ、30カ国57人の JICA 研修員の参加がありました。スタッフを含めると約270人を超える一大イベントとなりました。

今年は民族衣装をテーマにしたことで、多くの JICA 研修員も民族衣装を着ての参加となり、一段と華やかなフェスタとなりました。

MIFA が用意した花嫁衣装がとても好評で、モデルとなった研修員の初々しさが印象的でした。

現在、JICA 研修員が参加できる文化交流イベントが減ってきているため、MIFA フェスタに期待する声が多く寄せられています。途中から降り出した雨のため、屋外でのお茶席が中止になったことが唯一の心残りですが、スケジュールも順調に進み、良い文化交流ができたと思います。

## 講座修了式〔ログハウス〕

- |  |  |
|--|--|
| <p>12. 1 第8回英語でおしゃべり トピック「Xmas &amp; New Year」〔ログハウス〕</p> <p>12. 1 ログハウス飾り付け〔ログハウス〕</p> <p>12. 8 イヤーエンドパーティー〔ログハウス〕</p> <p>12.16 MIFA 理事会〔市役所〕</p> <p>12.25 ログハウス飾り撤去〔ログハウス〕</p> <p>1.16～3.27 第54回外国人のためのボランティア日本語講座〔ログハウス〕</p> <p>1.19～1.20 筑波大学留学生ホームステイ受け入れ〔ログハウス〕</p> <p>1.20 「ようこそ守谷へ」出展〔市民交流プラザ〕</p> <p>1.28 開発教育「放課後子ども教室」〔黒内小学校〕</p> <p>2. 2 第9回英語でおしゃべり トピック「How to keep warm」〔ログハウス〕</p> | <p>2.23 MIFA 世界を知るシリーズ第20回エルサルバドル共和国大使講演会「エルサルバドルを発見してみよう」〔ログハウス〕</p> <p>2.25 開発教育「放課後子ども教室」〔大井沢小学校〕</p> <p>2.26 国際交流協会・市役所外国人相談担当者・関東弁護士会による懇談会出席〔弁護士会館〕</p> <p>3. 2 第10回英語でおしゃべり トピック「Graduation」〔ログハウス〕</p> <p>3. 2 MIFA 理事会〔ログハウス〕</p> <p>3. 9 第16回 MIFA コンサート「ベリーダンスで知ろう！ オリエンタルの文化」〔ログハウス〕</p> <p>3.27 第54回外国人のためのボランティア日本語講座修了式〔ログハウス〕</p> <p>3.31 MIFA ニュースレターNo 57 発行〔全戸配布〕</p> |
|--|--|

## エルサルバドル マルタ・セラヤンディア大使講演会

# エルサルバドルを発見してみよう



MIFA 世界を知るシリーズ大使講演会が2月23日、ログハウスで開催されました。

20回目となる今回は、中央アメリカのエルサルバドル共和国大使をお迎えしての講演会でした。

大使は1985年から慶応大学に在学、日本語も堪能で、JICA、警視庁などでフリーランスの通訳として活動された経験もあります。今回は通訳が不要な日本語での講演だったため時間に余裕があり、大使は自国のことを少しでも多く知ってもらおうと、多岐にわたる内容を話されました。

エルサルバドルはグアテマラ、ホンジュラスと国境を接する中央アメリカ中央部からやや北西寄りにある国で、太平洋に面しています。エルは定冠詞、サルバドルは「救世主」という意味です。面積は九州の半分くらいで、21,000平方Km。国土は火山、湖水も多く起伏に富み、風光明媚な観光地が多くあります。海岸部中央の盆地は平坦で肥沃な農業地帯で、コーヒー、サトウキビ、トウモロコシを産します。石油、金はあ

りませんが、人が資源です。国民は勤勉で、「中米の日本」と呼ばれています。

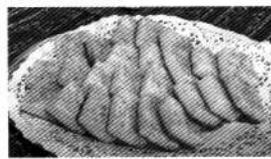
極右勢力と左翼ゲリラFMLNによる内戦もありましたが、このままでは国が減びると双方が気付きました。対話によって内戦を終結し、FMLNは武装解除して合法政党として再出発しました。平和的に終わらせることができたのは意味があることだと思います。

講演会後の懇談会では大使が持参したエルサルバドル産コーヒーやお菓子の「ケサディーア」に人気が集まり、少し酸味の強いコーヒーは多めに用意したもののあっという間になくなりました。懇談会終了後も残ったスタッフと30分以上も話し込まれるなど、真摯で気さくな人柄に魅了された一日でした。

右：大使を囲んで交流の輪が広がりました。



下：大使手作りのケサディーア(パンケーキ)。交流会で美味しくいただきました。



### 次回はモンゴル大使講演会 乞うご期待!



1月23日、ログハウス委員会のメンバーがモンゴル大使館を訪れ、大使に講演を依頼し、快諾を得ました。

## 平成24年度守谷市青少年海外派遣事業 天野紳一団長報告

7月27日から8月7日まで、守谷市の姉妹都市の一つであるアメリカ・グリーンリー市に守谷市の青少年12人がホームステイしました。派遣団団長の天野さんから報告が寄せられました。

「グリーンリー市では対面式に市長が出席、ご挨拶をいただきました。家族との対面式では市長が、各ホームステイ先の家族、派遣青少年との記念撮影に収まっています。生徒たちは各家庭での生活の体験を通じて、受け答えがはっきりして、かなり自信を持ってきたように感じます。全員、病気にもなら

ず、ホームシックとも無縁で、無事に全ての行程を終了しました(ネコアレルギーの症状が出た生徒がいましたが、ホームステイ先の速やかな変更、衣服の洗濯などで対応してもらえました)。訪問の件は「The Tribune」という現地の新聞に取り上げられ、また、グリーンリー市が撮影したフェアウェル・ディナーの様子やホームステイの意義が語られたビデオが、You Tubeに掲載されました」(詳細は、MIFA ホームページの事業報告、レポート、青少年派遣事業に掲載)

## MIFA コンサート

# ベリーダンスで知ろう! オリエンタルの文化



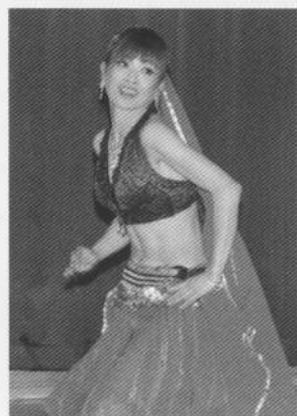
3月9日にログハウスでMIFAコンサートが行われ、ベリーダンスを通じてオリエンタル文化に触れることができました。

ベリーダンスは、中東その他のアラブ文化圏で発展したダンススタイルです。心肺能力に良い働きをもたらすことがわかり、身体の柔軟性と強靭さを増進させることから、最近では健康面からも注目されています。

そのためか、参加者の多くは女性でした。

今回のコンサートは、東京都内の飲食店でダンスを披露しているSHIVAダンススタジオのメンバー4人を招いてのコンサートでした。

エジプトの女神、イシスの翼をモチーフにした小道具を使ったモダンなダンスから、アフリカンフィーリングのパーカッションのみのネイティブなダンス。オスマントルコ時代のハーレムで踊らされていた女性たちが、権力(剣)の下でも、自らの体と心と魂は自由であることを表現したダンスなど、途中でベリーダンスの体験コーナーも交えながらの楽しいコンサートになりました。



## ボランティア日本語講座



外国人のためのボランティア日本語講座が、5月、9月、1月(各回10回)にログハウスで開催されました。

受講生の国籍は、アメリカ、イギリス、ブラジル、メキシコ、タイ、インドネシア、フィリピン、中国、韓国など多岐にわたっています。

受講生の募集は、「広報もりや」に掲載するだけでなく、関鉄守谷駅や中央図書館などの公共施設、郵便局などをお願いしてポスターを貼らせていただいたり、小中学校のALTの先生にも案内文を送付しています。受講生は、各回14人、33人、19人と増減はありますが、続けて受講する人もいます。

講習は午後7時30分から9時までですが、休憩中にお茶を飲みながらの交流も楽しみのひとつです。

## 日本語講座講師勉強会



外国人に日本語を教えることは、難しいことです。このため、ボランティア日本語講座の講師たちが、5月と9月(各回2回)に講師勉強会を開催しました。

普段講座で使っている教材を使い、初級レベルから中級レベルまで、講師のスキルアップを図るとともに、新しい講師の募集も兼ねています。今回、新たに参加した人は、そのまま日本語講師として講座に参加し、講師陣も徐々に人数が増えてきました。

講座終了後には講師の反省会も行い、講師と受講生からのアンケートに基づき活発な意見交換も行っています。反省点を踏まえながら少しでも受講生の日本語上達に役立つよう研鑽を重ねています。

日本語講師に興味がある人は、MIFAまでご連絡ください。

# 英語でおしゃべり

月に一度の  
日本語禁止

「英語でおしゃべり (MIFA Chat Salon)」は、気軽に、楽しく、英語だけでおしゃべりする会です。

毎月第一土曜日の午前10時から正午まで(※)、ログハウスを会場に行っています。前半は少人数のグループに分かれ、フリートークやティータイム、後半は毎月変わるトピックに沿ってのおしゃべりです。

今年度第2回は5月12日に行われ、守谷市国際交流員のベッカー・ヨークさん(本人の希望で、姓・名の順で記載)をお招きし、「ドイツ」のお話を英語でお願いしました。ヨークさんにはドイツの教育事情や移民問題などを英語でスピーチしていただき、ドイツについて興味深い情報が聞けました。後半では各テーブルを回って、それぞれの質問にも答えてくれました。

また、今回はランチ交流会が行われました。ヨーク



さんやエミリーさんも交え、ランチを取りながらエミリーさんのアイリッシュハーブの演奏やヨークさんが作ってくれたクイズ、ゲームなどを楽しみました。交流会には飛び入り参加者もいましたので、料理が少し不足するくらいの盛況でした。

Chat salon 終了後の交流会も好評で、今後も半年に一回程度はランチ交流会を開く予定です。

(※) 原則です。都合で休止したり日にちが変更されることもありますので、確認してください。(ブログがあります。日程・トピックは「mifachatsalon」で検索)



## 北守谷地区夏祭



北守谷地区夏祭が8月19日、20日の二日間、立沢公園を会場に行われ、お天気にも恵まれ、大勢の人で賑わいました。

今年も青少年海外派遣事業派遣団と青年交流委員会の協力が得られ、手伝ってくれた人は初日は27人、二日目は28人と人手は十分でした。

昨年は雨が降り予定が狂ってしまいましたが、今年は晴天に恵まれ、用意した飲み物も完売するなど親睦を兼ねたイベントは盛会のうちに終わりました。

## 商工まつり~きらめき守谷夢彩都



守谷市商工まつり~きらめき守谷 夢彩都フェスタ~が9月29日、30日に守谷駅周辺で行われ、今年は「コモン・ニジュール」との共同出展で参加しました。MIFAは、パネルを展示、ラオス民芸品の販売など、MIFAの活動を多くの人に紹介することができました。

30日は台風が接近していることもあり早めの閉店となりましたが、昼ごろまでは人出も多く、活動のPRという所期の目的は達成されました。

# 国際理解教育 ワークショップ



国際理解ワークショップが「ブータンはなぜ、輝いているのか」と題して行われました。サブタイトルは「日本の技術屋が、ブータンで『道づくり』を教えながら『本当の幸福』を考えた」です。

講師の白井さんは、大手建設機械整備会社に勤務する中で、世界130カ国以上で技術指導、技術調査に携わり、ブータンでの道路整備技術支援では「自分の歩く道を自分で作る」自立支援のためのプロジェクトマネージャーとして5年間滞在してきました。

講演は「ブータンは最後の桃源郷か」「GNH思想はなぜ生まれたのか」「GNH思想に基づく、新しい開発工法を教える『技術者育成大学』計画とは」といった内容で、国王夫妻の来日とGNH思想で脚光を浴びているブータンについて話されました。「GNH=国民総幸福量」という物差しはGDPに代わる社会の在り方の一つとして、今の日本でも十分通用する指標です。真実の豊かさと幸せを目指すことの大切さを学んだ一日でした。



## 放課後子ども教室



10月15日、郷州小学校で「放課後子ども教室」が行われ、国際理解WGメンバーやボランティアの皆さんが児童にバンブーダンスや民族衣装の紹介と試着などを行いました。

児童へのアンケートでは、「バンブーダンス」への興味が一番多く37%ありましたが、民族衣装の紹介と試着」21%、「国旗シールを集めよう」19%、「世界の言葉で「ありがとう」」16%とさまざまな出し物にも興味をもって参加してくれています。

工夫すべきこともまだまだたくさんありますが、これからも放課後子ども教室で、国際交流に興味を持つきっかけとなるようなイベントを続けたいと思います。



## イヤー・エンド・パーティー

MIFA イヤーエンドパーティーが12月8日にログハウスを会場に行われました。

昨年に引き続き出演してくれた YtoK のコンサートのほか、今年は会員が所属しているマジッククラブのメンバーによるマジックショーも行われ、盛んな拍手喝さいを浴びていました。

一年を締めくくる恒例行事として、並んだ料理のほか参加者同士の会話にも堪能した一日となりました。会員の皆さん、一年間お疲れさまでした。

## 守谷市・マインブルク市 市民交流会



守谷市市制施行 10 周年記念式典に参加するため来日したハネローレ副市長、シェーンフーパーさんを歓迎する交流会が 4 月 7 日にログハウスで行われました。

昨年マインブルク市に派遣された青少年たちも参加し、トランペットによる国歌演奏、和服の着付け、投扇興や飛び入りで演じられた能などで歓迎しました。

参加者は 57 人で、日独友好の交流会となりました。



## グリーリーからのお友達

グリーリー市出身のレイチェル・アンナ・シーマンさんが守谷を訪れました。

レイチェルさんは、自身が高校生だった 7 年前にホームステイ交流で守谷市に来市、また、翌年には守谷市青少年派遣員のホームステイを受け入れてくれました。今は鹿児島県国際交流員として在日していますが、休みを利用しての守谷市訪問でした。

協会員宅にホームステイしながら、前回訪日した時にホームステイした家族、派遣員を受け入れた家族と食事を共にしながら楽しいひとときを過ごしました。

11 月 19 日には北守谷公民館で「レイチェルさんの料理教室」を開催。市長を表敬訪問したほか市役所関係者とも交流しました。

ホームステイを通じた交流がそのときだけのものではなく、長く続く交流になることを感じさせてくれました。このような関係を作り上げることが、国際交流の醍醐味だと思いました。



## 筑波大学留学生ホームステイプログラム



1 月 19 日・20 日に、筑波大学留学生のホームステイが行われました。

留学生は 8 人、受け入れ家庭は 7 家族でした。国別では中国人が 4 人、ルーマニア、ウクライナ、ラ

トビア、台湾からの留学生が各 1 人で、男性 2 人、女性 6 人となりました。

対面式では留学生のお国自慢が披露され、会員による茶道体験も好評でした。このホームステイを楽しみにしている留学生も多くいます。

2012 年の資料では、筑波大学留学生は 92 カ国 1,857 人にもなります。そのうちアジア出身者が 84.8% を占め、81% が大学院レベルの学生です。10 月 17 日に行われた筑波大学と地域交流団体との意見交換会では「留学生はホームステイ等の交流を大変楽しみにしている」という学長のお話もありました。

留学生の皆さんは来日してから数カ月という人でも驚くほど日本語がお上手です。「外国語はどうも」という人でも心配ありません。世界から集まってくる若者と交流する良い機会です。もっと気軽に外国人との交流を楽しんでみませんか。